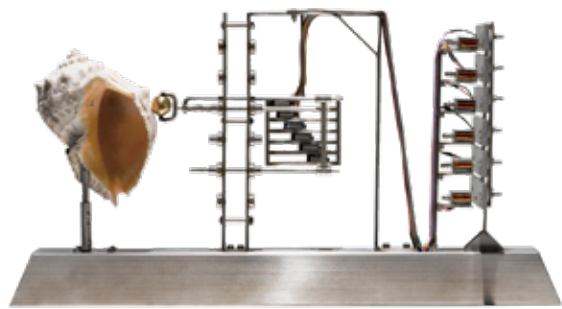


Produced by Creative Art School

SOUND & ART

サウンド & アート展

Performance / Workshop



藤田クレア 《Invisible soundscape -version 1: (1+√5)/2+x-》



ベルナルド・フランソワ・バシェ
「パレット・ソノール」《The Spring》,《The Star》,《The Candlestick》



見る音楽、聴く形



フィル・ダドソン:
フロム・スクラッチ《Sprong》



齋藤鉄平《波紋音》



ハンス・ライヒェル《ダクソフォン|タング》

2021年11月6日[土]-11月21日[日] アーツ千代田 3331(メインギャラリー)

開場:12:00-18:00 ※入場は17:30まで 期間中無休 入場料:一般(1200円) 高校・大学生(600円) 中学生以下(300円) ※要予約

主催:クリエイティブ・アート実行委員会 共催:東京都教育委員会 後援:社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 公益社団法人東京都盲人福祉協会
公益社団法人東京都聴覚障害者連盟 一般財団法人トライアングル金山記念聴覚障害児教育財団 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会
会場協力:アーツ千代田 3331 企画制作:ミューズ・カンパニー 助成:公益財団法人朝日新聞文化財団 公益財団法人全国税理士共栄会文化財団 笹川日仏財団 アサヒグループ芸術文化財団

創造的な音楽づくりと創造的な楽器

本展は「見る音楽、聴く形」をテーマに、新しい創造的な楽器やサウンドをめぐる作品を集めた展覧会です。20世紀に入り、それまで音楽とは考えられていなかった「音」や視覚的な要素を音楽の中に取り込む試みがなされてきました。既存の楽器では出せない「音」や視覚的な要素を作り出すために、新しい「楽器」が作品として作られる一方で、一般には視覚芸術に分類される彫刻やオブジェ、インスタレーション作品の中にも魅力的な「音」を奏でる作品が多数存在します。今回の展覧会では未来派のルイージ・ルッソロが1913年に制作した《イントナルモリー》(複製)から、新進作家・藤田クレアの《Invisible soundscape ~version 1: (1+√5)/2+x~》(2020年)まで、20世紀以降の「音」と「形」をめぐるさまざまなアイデアによる独自の作品、約40点が一堂に会します。

展覧会を主催するクリエイティブ・アート実行委員会は、新しいアートの可能性を探る「クリエイティブ・アート・スクール」を30年にわたり開催し、特に「創造的な音楽づくりワークショップ」は、自らの発想で楽器の異なる奏法を発見し、音楽をつくり(作曲)、参加者同士が共に創ることをテーマとしてきました。新しい楽器や自動演奏装置を創り出すことにより、音楽づくりの基盤を変えていこうとする活動に目を向けることで、組織や社会の基盤の変革に思いを馳せるきっかけとなることを目指します。

出展アーティスト(50音順):

一柳慧 / invis dir / 宇治野宗輝 / 金沢健一 / 齋藤鉄平 / 園部良 / 武満徹

フィル・ダドソン / フロム・スクラッチ / 西原尚 / ベルナルド・フランソワ・バシェ / ビエール・バスティアン

FUJI / TA / 藤田クレア / 松本秋則 / 明和電機 / 吉村弘 / ハンス・ライヒェル

マーティン・リッチズ / ルイージ・ルッソロ (再制作: 多摩美術大学芸術科、監修: 秋山邦晴)



西原尚《勤奮機械》(Photo: 台南市美術館)



invisi dir《KO-TONE スパイラル木琴》(Photo: Masahiro Oku)



비에ール・바스티앙《mechanised Sanza》
(Photo: 井上嘉和 Yoshikazu Inoue / Festival BEYOND INNOCENCE 2002)

アーティスト・トーク & デモンストレーション

唯一無二のユニークな作品はどのように生まれたのでしょうか。作品のづくり手や演奏家、研究者など、作品を知りつくす方々による出展作品の実演と創作過程のトークを通し、作品の魅力をご紹介します。

- 参加費: 無料 ※ただし入場にはチケットが必要。事前に展覧会予約サイトで参加希望日の14:00の回をご予約ください。
- 会場: アーツ千代田 3331 1Fメインギャラリー

① 永田砂知子 (日本バシェ協会会長、打楽器奏者) × 《勝原フオーン》(フランソワ・バシェ作) / 11月6日(土)14:10-15:00

② 宇治野宗輝 (アーティスト) × 《The District of Plywood City》/ 11月7日(日)14:10-15:00

③ 藤田クレア (アーティスト) × 《Invisible Soundscape - Version 1: (1+√5)/2+x ~》/ 11月8日(月)14:10-14:40

④ 西原尚 (アーティスト) × 《勤奮機械》、ほか / 11月11日(木)14:10-15:00

⑤ 明和電機 × 《セーモンズII》、ほか / 11月14日(日)14:10-14:40

⑥ invis dir × 《KO-TONE スパイラル木琴》/ 11月15日(月)14:10-14:50

⑦ 鳥越けい子 (サウンドスケープ研究家) × 《サウンド・チューブ》(吉村弘作) / 11月16日(火)14:10-15:00

⑧ 金沢健一 (彫刻家) × 《音のかけら (57memories)》、《振動態-円900 / -正方形900》/ 11月18日(木)14:10-15:00

⑨ 永田砂知子 (打楽器奏者) × 《波紋音》(齋藤鉄平作) / 11月19日(金)14:10-15:00

⑩ 三輪眞弘 (作曲家) × 《Thinking Machine》(マーティン・リッチズ作) / 11月21日(日)14:10-15:00



フランソワ・バシェ《勝原フオーン》
(岡本太郎美術館 演奏: 永田砂知子, Photo: 大杉謙治)



金沢健一《音のかけら-テーブル (57memories)》



齋藤鉄平《波紋音》(演奏: 永田砂知子)

創造的な音楽づくり & 楽器づくりワークショップ

一人ひとりの異なる創造性を探索し、クリエイティブな音楽づくりを目指す、さまざまなワークショップを開催します。

- 開催時間: 全日程 10:10-11:55
- 会場: アーツ千代田 3331 1Fメインギャラリー

①指導者対象の創造的な音楽ワークショップ / 11月7日(日) 10:10-11:55

楽器のみならず、自然素材から音が出るおもちゃ、音具、アート作品に至るまで、人々が昔から触発されてきた「音」に対し、どう向き合うのか、どのように指導することで一人ひとりが持つ創造性を引き出す契機となりうるのかを、実践から学びます。音楽を通して表現することの可能性をカール・オルフの教育理念を元に探ります。

- 講師: 柴田礼子

オーストリア国立音楽芸術大学モーツァルテウム「カール・オルフ研究所」A-Studio及びB-Studio卒業。
青山学院大学社会情報学部でアスペルガー症候群の研究で学術修士を取得。
音楽と動きの教室「シュペールハウス」主宰。公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」理事。

- 対象者・定員: 創造的な音楽づくり活動をしている方、創造的な音楽づくりに興味のある大人12名
- 参加費: 3,000円(展覧会入場料は別途)



アプレ・バシェ《RSタイプ》

②ミニ音響彫刻キット組立て体験ワークショップ / 11月9日(火) 10:10-11:55

バシェ兄弟が手がけた音響彫刻の仕組みを使ったミニ音響彫刻キットを組立て、音と素材と形の関係を体感します。ミニ音響彫刻キットはガラス棒を使用したタイプで、ガラスを擦ると振動が増幅されて不思議な音を奏でます。

- 講師: 三枝一将

東京藝術大学GEIDAI FACTORY LAB マネージャー。
2017年のバシェ音響彫刻修復プロジェクトを立ち上げ、現在もバシェ音響彫刻の保存・活用について研究を進めている。

- 講師: 田中航

東京藝術大学金工機械工房テクニカルインストラクター。
2017年《勝原フォン》の修復をバルセロナ大のマルティ・ルイツとともにこなす。

- 対象者・定員: 創造的な音楽づくり活動をしている方、創造的な音楽づくりに興味のある中学生以上の方10名
- 参加費: 一般・高校・大学生 3,000円 / 中学生 1,500円(展覧会入場料は別途)



「ミニ音響彫刻キット組立て体験ワークショップ」風景

③視覚に障害のある方を対象にした音楽ワークショップ / 11月12日(金) 10:10-11:55

展覧会で紹介する楽器を含め、音や楽器に出逢うことが「視覚」以外の感覚ではどのような意味を持つのでしょうか。さわることや聴くこと、感じることなどとはどのような表現につながるのでしょうか。従来の楽器の演奏に捉われずコミュニケーションを通して音楽をつくり上げていきます。

- 講師: 柴田礼子 ※①指導者対象ワークショップのプロフィール参照

- 対象者・定員: 視覚に障害のある方7名
- 参加費: 1,500円(展覧会入場料は別途)

※音楽ワークショップ終了後、「視覚に障害のある方を対象にした展覧会ツアー」も実施します。
時間: 12:15-13:30。参加希望の方は、必ずツアーも別途ご予約ください。



④パレット・ソノールを使った小学生&指導者向け音楽ワークショップ / 11月13日(土) 10:10-11:55

バシェ兄弟の作る音響彫刻は大型のものが多かったため、兄のベルナルが子ども用に小型の音響彫刻を考案しました。それがバシェの教育音具「パレット・ソノール」です。
実際に演奏して響きを味わいながら、色とりどりの音の世界を一緒に作りましょう。
ワークショップ前半は小学生対象、後半は指導者の方向けに「パレット・ソノール」の使い方を紹介します。

- 講師: 岡田加津子

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。
作曲活動の一方で、楽器を使わずに音楽する「リズムック・パフォーマンス」などを制作。
2015年～バシェの音響彫刻を用いた新しい舞台創造、教育活動に情熱を注ぐ。京都市立芸術大学教授。

- 対象者・定員:
前半 10:10-11:00 / 小学生 10名、後半 11:10-11:55 / 指導者・創造的な音楽づくりに興味のある大人 5名
(大人の方は前半「小学生対象ワークショップ」開始時間に集合のうえ、見学いただきます)
- 参加費: 小学生 1,500円、指導者・創造的な音楽づくりに興味のある大人 3,000円(展覧会入場料は別途)



「パレット・ソノール」 Photo: SHINOBU ANZAI

⑤ 絵画から音楽をつくるワークショップ / 11月14日(日) 10:10-11:55

五線譜に書かれた楽譜からではなく、絵画などのヴィジュアルから感じる音を自由に表現します。20世紀前半に描かれた抽象画をモチーフに、作品をどのように楽譜として解釈し、演奏するのか。ひとりひとりのアイデアで音楽が変わります。作曲家が制作した図形楽譜の演奏にも挑戦します。

●講師: 本多峰和

オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学「音楽と動きの教育」「オルフ研究所」卒業。

名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化専攻博士前期課程修了。愛知学泉短期大学幼児教育学科准教授。日本オルフ音楽教育研究会運営委員。

●対象者・定員: 創造的な音楽づくりに興味のある大人、指導者12名

●参加費: 3,000円 (展覧会入場料は別途)

⑥ 障害のある小学生向け音楽ワークショップ / 11月15日(月) 10:10-11:55

創造的な音楽づくりワークショップは、基本的には、障害のある子もない子も、同じ方法でワークショップを行います。テクニックを学ぶことよりも、一人ひとりのアイデアを出しあいながら音楽づくりを進めます。

●講師: 本多峰和 ※⑤絵画から音楽をつくるワークショップのプロフィール参照

●対象者・定員: 主に特別支援学級等に通う小学生10名

●参加費: 1,500円 (展覧会入場料は別途)

⑦ 「音＝振動のかたち」クラドニ図形をつくるワークショップ / 11月18日(木) 10:10-11:55

音＝振動と捉え、正方形や円形の鉄板を振動させて、振動が描く不思議な図形「クラドニ図形」を作ってみましょう。

●講師: 金沢健一

1956年東京生まれ。工業製品としての金属を素材に幾何学的な構成作品、それと並行して音に関わる作品では素材と形と音をテーマに視覚、聴覚、触覚を結びつける作品を制作している。パフォーマンス、ワークショップも積極的に行なっている。

●対象者・定員: 聴覚に障害のある方、振動から図形を生み出すことに興味のある大人10名

●参加費: 聴覚に障害のある方1,500円、一般3,000円 (展覧会入場料は別途)



「クラドニ図形をつくるワークショップ」風景

⑧ 親子で楽しむ竹の楽器づくりワークショップ / 11月20日(土) 10:10-11:55

身近にある竹からさまざまな楽器をつくります。どのような原理で音が鳴るのかを学びながら、耳に心地よい楽器をつくってみましょう。

●講師: 松本秋則

1980年代半ばから竹を使ったオリジナルな楽器づくりを開始。

それらをサウンドオブジェと呼び、展示やパフォーマンスで使い、今までにない音響の世界作り出している。

●対象者・定員: 楽器づくりにトライしたい親子5組 (4歳以上～小学校6年生まで)

●参加費: 3,000円 (2人1組料金、展覧会入場料は別途)



松本秋則《竹の楽器》

⑨ 展覧会楽器も使った小学生対象の音楽ワークショップ / 11月21日(日) 10:10-11:55

本展では、楽器に見えない形の作品からも音が生み出されます。展示作品の一部も使いながら、いろいろな音を見つけていきます。そこから、どんな音の組み合わせができるかをみんなで考え、音楽づくりを楽しみましょう。

●講師: 山地寛和

NPO法人生涯音楽アカデミー理事長、レオミュージック主宰。京都芸術大学大学院修士課程修了 芸術教育士1級取得。

「音楽はコミュニケーション」をキーワードに乳幼児から大人まで音楽ジャンルを問わず、様々なワークショップを行っている。

編著:『リズム・楽器・コミュニケーション』(三景社)

●対象者・定員: 小学生10名

●参加費: 1,500円 (展覧会入場料は別途)



フィル・ダドソン: フロム・スクラッチ《Sprong》

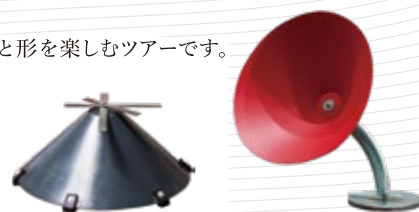
視覚に障害のある方を対象にした展覧会ツアー

本展では高さ3メートルを越える大きな楽器も展示します。大きな楽器の模型などに実際にふれながら、さまざまな音と形を楽しむツアーです。

●日時: (1回目) 2021年11月12日(金) 12:15-13:30 (2回目) 2021年11月17日(水) 12:15-13:30

●対象者・定員: 視覚障害のある方 (小学生以上) 7名

●参加費: 視覚に障害のある大人 600円 / 高校・大学生 300円 / 中学生以下 150円 (付き添いの方はおひとりまで無料)



コラボレーション・パフォーマンス

演奏家、詩人、ヴォーカリスト達とのコラボレーションにより、展示作品の魅力を知っていただくとともに、新たなパフォーマンスの可能性を探ります。

① 内橋和久×巻上公一×ダクソフォン / 11月13日(土) 19:00-20:00

ダクソフォンは、木製のボックスにタングと呼ばれる小さな木片を装着し、それを弦楽器用の弓でこすり、スティックで叩いたりして演奏する楽器で、ドイツの即興音楽家ハンス・ライヒェルが1980年代半ばから制作したものです。彼と深交のあった内橋和久の演奏と、モダン・ヴォーカリストである巻上公一とのコラボレーション企画です。奇怪とも評されるダクソフォンの音と、それに呼応する巻上公一のヴォーカルの妙をお楽しみください。

●内橋和久

音楽家。80年代より即興演奏を中心とした演奏活動、ダンスや音楽劇への作曲活動を開始。90年代初頭から現在まで北米・欧州・アジア諸国で公演。エフェクターを駆使したギター演奏に加え、98年からダクソフォン、2013年にはレザナントハーブギターを自らデザインし演奏している。ベルリンと東京を拠点にあらゆる楽器演奏者や歌手、芸術家たちと共演中。

●巻上公一

モダン・ヴォーカリスト、音楽家、詩人、プロデューサー。ヒカシューのリーダー。民族音楽にも精通しており、2017年トウバ共和国国際ホームイコンテストで優勝、作詩作曲の他、テルミン、尺八、エレクトロニクスなど多くの楽器を演奏。歌らしい歌から歌にもならないものまで歌う歌唱力には定評があり、それらの音楽要素を駆使する演劇パフォーマンスのクリエイターとしても活躍。

●定員:20名

●参加費:2,000円(展覧会入場料は別途)

※展覧会の開場時間は18時まで(入場は17:30まで)です。

当日イベント参加予定の方も一度会場よりご退出いただきますので、ご了承ください。



内橋和久 (Photo: Leonid Selemenev)



巻上公一 (Photo: 池田まさあき)



ハンス・ライヒェル《ダクソフォン》Photo: Hans Reihel

② 谷川俊太郎(オンライン出演)×内橋和久×バシェ / 11月16日(火) 11:00-11:50

画家のパウル・クレーは、音楽に触発されて描いた絵画があると言われています。クレーの絵画をモニターで写しながら、クレーの絵をもとに詩を制作した谷川俊太郎(オンライン出演)による詩の朗読と、内橋和久によるバシェなどの楽器の即興演奏をお楽しみください。

●谷川俊太郎

詩人。1931年東京生まれ。1952年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。1962年『月火水木金土日の歌』で第四回日本レコード大賞作詩賞、1975年『マザー・グースのうた』で日本翻訳文化賞、1982年『日々地図』で第三十四回読売文学賞、1993年『世間知らず』で第一回萩原朔太郎賞など受賞・著書多数。詩作のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞など幅広く作品を発表している。

●内橋和久 ※①内橋和久×巻上公一×ダクソフォンのプロフィール参照

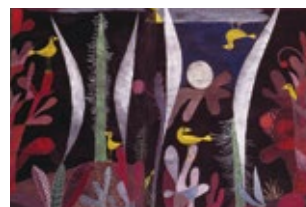
●定員:20名

●参加費:2,000円(展覧会入場料は別途)

●オンライン配信チケット:1,000円



谷川俊太郎 (Photo: 深堀瑞穂)



パウル・クレー《黄色い鳥のいる風景》1923年
個人蔵 ©Zentrum Paul Klee, Bern, Archiv

ディスカッション「楽器をつくる、社会をつくる」

●日時:2021年11月20日(土) 14:00-16:00

●テーマ:「楽器をつくる、社会をつくる」

「楽器をつくる」という実践は、どのような美学的、文化的、そして社会的意味があるのでしょうか。コロナ禍の中で社会や経済が大きな転換期を迎えている今、芸術はどのように変化するのでしょうか。芸術と社会において現代求められている「創造性」とは何なのでしょう。『SOUND&ART』展を手がかりにして、今回の展覧会学術企画協力者の毛利嘉孝(東京芸術大学教授)と中川克志(横浜国立大学准教授)をモデレーターにアーティストや研究者と徹底的に議論します。

●登壇者

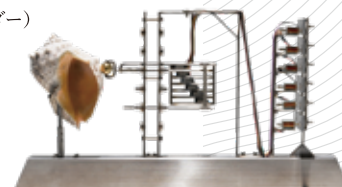
モデレーター: 毛利嘉孝(東京芸術大学国際芸術創造研究科教授)、中川克志(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)
パネリスト: 柴田礼子(創造的な音楽教育家・シュピールハウス主宰)、佐倉統(東京大学大学院情報学環教授・理化学研究所チームリーダー)

●会場:アーツ千代田 3331 ラウンジ

●定員:15名

●参加費:無料(イベントの予約サイトでご予約ください。また、入場時に展覧会入場チケットをご提示ください)

●オンライン配信予定。詳細は展覧会公式ウェブサイトをご覧ください。



ワークショップ

創造的な音楽づくり&楽器づくりワークショップ
(10:10-11:55)

展覧会ツアー

視覚に障害のある方を対象にした展覧会ツアー
(12:15-13:30)

トーク & デモ

アーティスト・トーク&デモンストレーション
(14:10-)

ディスカッション

「楽器と社会」を考えるディスカッション
(14:00-16:00)

コラボレーション

コラボレーション・パフォーマンス

H/6(土)

H/7(日)

11/8(月)

11/9(火)

11/10(水)

11/11(木)

11/12(金)

11/13(土)

11/14(日)

11/15(月)

11/16(火)

11/17(水)

11/18(木)

11/19(金)

H/20(土)

H/21(日)

①指導者対象の創造的な
音楽ワークショップ②ミニ音響彫刻キット
組立て体験ワークショップ③視覚に障害のある方を対象にした
音楽ワークショップ④パレット・ソノールを使った小学生
&指導者向け音楽ワークショップ⑤絵画から音楽をつくる
ワークショップ⑥障害のある小学生向け
音楽ワークショップ⑦「音=振動のかたち」
クラドニ図形をつくるワークショップ⑧親子で楽しむ
竹の楽器づくりワークショップ⑨展覧会楽器も使った
小学生対象の音楽ワークショップ視覚に障害のある方を対象にした
展覧会ツアー①視覚に障害のある方を対象にした
展覧会ツアー②

①永田砂知子 × 《勝原フォン》

②宇治野宗輝 ×
《The District of Plywood City》③藤田クレア ×
《Invisible Soundscape
-Version 1: (1+√5)/2+x ~》

④西原尚 × 《動機機械》、ほか

⑤明和電機 × 《セーモズII》、ほか

⑥invisi dir ×
《KO-TONE スパイラル木琴》⑦鳥越けい子 ×
《サウンド・チューブ》⑧金沢健一 ×
《音のかけら(57memories)》、ほか

⑨永田砂知子 × 《波紋音》

⑩三輪眞弘 ×
《Thinking Machine》「楽器をつくる、社会をつくる」
ディスカッション①内橋和久 × 巻上公一
× ダクソフォン (19:00-20:00)②谷川俊太郎 × 内橋和久
× バジエ (11:00-11:50)

【イベントチケット購入方法】



ワークショップ・イベントはイベント予約サイトよりお申込みください。

10月1日(金)より、下記公式ウェブサイトより予約受付開始予定です。

(公式ウェブサイト: <https://muse-creative-kyo.com/caec/soundandart/>)

※イベントチケットには展覧会入場料は含まれていません。展覧会の鑑賞をご希望の方は、別途展覧会チケットのご予約もお願いいたします。予約方法と料金は、下記【展覧会チケット購入方法】をご確認ください。チケット購入後のキャンセル(払戻し)・日時変更はいかなる場合でもお受けできません。新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、イベントの予定が変更または中止になる場合があります。最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。開催が中止になった場合は購入金額を払戻いたします。中止は主催者判断となります。

【展覧会チケット購入方法】

新型コロナウイルス感染症予防の観点から日時指定予約制を導入します。事前に予約サイトよりご予約をお願いします(予約サイトは10月1日にオープン予定)。詳しくは公式ウェブサイトからご確認ください。

【入場料】

一般	1,200円
高校・大学生	600円
中学生以下	300円

※表示料金に消費税込 ※障害のある方は半額、お一人で会場までお越しにならない障害のある方の付添の方1名まで無料。入場時に障害者手帳をご提示ください。※未就学児無料 ※コンサート・イベント等は別途参加費をいただきます。※会場に余裕がある場合のみ、当日窓口にてチケットを販売いたします。当日入場料: 一般1500円、高校・大学生900円、中学生以下600円(消費税込)

【会場】

アーツ千代田 3331
(東京都千代田区外神田6丁目11-14)

●アクセス

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
JR御徒町駅南口より徒歩7分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分
JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

●お問い合わせ

クリエイティブ・アート実行委員会
Web: <http://www.musekk.co.jp>
Tel: 03-6426-5182 / Mail: musekk@aol.com